

国際ロータリー第2780地区



# 横須賀北ロータリークラブ週報

2022～2023年度

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
 例会場 かながわ信用金庫追浜支店3階 横須賀市追浜本町1-28  
 TEL 046 (866) 1515  
 事務所 鈴木ハイツ2F 横須賀市追浜町3-22-202  
 TEL・FAX 046 (866) 1801  
 URL: <http://www.yokosukakita-rc.jp/>  
 E-mail: [info@yokosukakita-rc.jp](mailto:info@yokosukakita-rc.jp)



会 長 武藤 修儀 副 会 長 小菅 健史  
 幹 事 平林 祐樹 会報委員長 芹澤 達之

## 第2873回 2023年 5月 23日『火曜日』横須賀北RC

点 鐘  
 合 唱 「横須賀北ロータリークラブの歌」  
 司 会 武藤 修儀 会長  
 ゲスト  
 ビジター  
 誕生日祝い  
 入会記念日のお祝い



### 「出席報告」

(本日) 5月23日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メーカーアップ	計	修正出席率
18名	18名	11名	61.11%	3名	14名	77.78%

(前々回) 5月9日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メーカーアップ	計	修正出席率
18名	18名	12名	66.67%	3名	15名	83.33%

### 「メーカーアップされた会員」

### 「ニコニコBOX」

三役 皆様こんにちは。 本日 講師体調不良のため  
急遽クラブ協議会の開催とさせていただきます。

平林会長以外 宜しくお願い致します

竹永 薫会員 本日の卓話予定でしたタラニュースの安池様ですが、  
昨年まで大流行していました風邪を今頃かかっ  
てしまったとのこと。また日程を調整して  
お願いすることに致します

高田源太会員 次年度に向けて 実りある協議会になることを  
祈念いたします

佐々木佑倫会員 寒暖差で体がついていきません。皆様 お気を付けください。  
来年度の活動に向けて動き出しました。より一成の発表を祈念  
いたします

ニコニコBOXの合計は6,000円（累計265,000円）

財団BOXの合計は6,500円（累計70,500円）

ご協力有難うございました。次週も宜しくお願い致します



### 「会長あいさつ」

・本日は雨の中ご出席有難うございます。

卓話の予定でしたタラニュースの安池様のご都合が悪くなり急遽次年度に向けての  
クラブ協議会となりました。宜しくお願い致します

安池様に関しましては後日お願いする予定となっております

### 「幹事報告」

◎配布 ①地区大会報告書 ②がバナー月信

◎回覧 ①ローター文庫の事務所移転と電子図書館開設のお知らせ

②2024-25年度ローター奨学生募集案内

③横須賀南西ロータークラブより週報

④横須賀西ロータークラブよりチャリティコンサートの協賛御礼状

⑤おっぱままつり・歩行者天国実施に伴う協賛金ご協力のお願い

◎本日は5月最終例会ですので財団BOXを廻します。ご協力宜しくお願い致します

◎三浦ロータークラブ・横須賀西ロータークラブより例会のご案内受領

### 「委員会報告」

## 「スピーチ」

### 【次年度のためのクラブ協議会 平林 祐樹 会長エクソ】

本年度の武藤会長によるクラブ協議会では、会員増強を策定した。それによれば、クラブとして諸負担金を支出しつつも適正な事業を行っていくためには、25人の会員数が必要であると結論付けていた。この数字は、会計結果を見るに適正な数字であることが分かった。



これらのことから我々は、まずは会員の増強に対し本気で取り組み、いち早く25人に到達しなければならない。この数字が達成できれば、安定した会の運営を行うことが出来るだけでなく、新しい会員からの紹介による更なる拡大も期待され、会費の減額が可能になれば更に拡大につながりという、良いサイクルが期待される

ところが、現在の会員数18人からの7人拡大という数字は、単年度では出来ないこともない数字とはいえるが、我々にとって現実的ではないことは確かである。本気で拡大活動をして、この目標を達成するには最低でも2~3年以上はかかると言わざるを得ないのが現実である

そうであるならば、この会員増強ビジョンが達成されるまでの期間だけでも、いわば「緊縮財政」として運営をしていかなければならないのではないだろうか。これまでで示した①~⑤までのいかなる方法を使ってでも、適正会員に至るまでの道のりという短期の処理としての決断が迫られている

まずは会員拡大である。これは紛れもない事実である。しかし会員拡大だけを問題の要因としてとらえていては、もはや会としての運営が出来ない状況であることもまた紛れもない事実である。これら問題に対し単年度の会長だけの変革ではなく、クラブのビジョンとして全会員で取り組む必要があると思われる。

